

京蒔絵・高純度機能性炭素万年筆図録



万年筆製造元：セーラー万年筆株式会社 <http://www.sailor.co.jp>
意匠蒔絵：株式会社象彦 <http://www.zohiko.co.jp/company/>
炭素製品製造元：株式会社大木工藝 <http://ohki-techno.com>

創業105年を迎えたセーラー万年筆と
炭素を極める大木工藝のコラボレーションから
生まれたジャパンオリジナルの万年筆。
纏うのはこれも京都を代表する「象彦」の
精緻な蒔絵意匠。
全て受注生産による工芸作品です。

伝統の美
機能の用
不変の材の結晶

「京蒔絵・高純度機能性炭素万年筆」

Traditional Beauty
Functionality

The Essence of Unchanging Material

“Kyoto Gold Lacquer-work / High Purity Functional Carbon Fountain Pen”

A fountain pen that was born from the collaboration between the Sailor Pen Co., Ltd. with 105 years of history, and Ohgi Technological Creation Co., Ltd. which is a master in using carbon. This fountain pen is a Japanese Original.

It is decorated with an intricate lacquer-work by “Zohiko”,
the leading lacquer-work in Kyoto.

It is a work of craftsmanship only made to order.

传统之美
功能实用
永恒素材之结晶
“京蒔绘——高纯度功能性碳钢笔”

创业105年的写乐（Sailor）钢笔公司与钻研碳素技术的大木工艺，
两者强强合作，联手打造出日本独创的工艺钢笔。
采用代表京都传统工艺的店铺——“象彦”的细腻描金图案来装饰，
每一支都是按订单生产的工艺精品。

セーラー万年筆株式会社	概要	1
株式会社 象彦	概要	2
株式会社 大木工藝	概要	3

白孔雀	4
見返り美人	6
謙信	5
信玄	7
織田信長	8
宝尽くし	9
六瓢	10
矢	11
鳳凰・獅子	12
蝶・波千鳥	13
龍・白象	14
飛鶴	15
月猫	16
紅葉	17
雨龍	18
雪月花	19
蝙蝠・桜花	20
源氏車・蜘蛛	21
月に鹿	22
昇龍	23
とんぼ	24
昇龍	25

高蒔絵漆箱（一本収納式）	27
漆箱（一本収納式）	26
万年筆	29
機能評価・分析	28
製造工程	1

105th
ANNIVERSARY

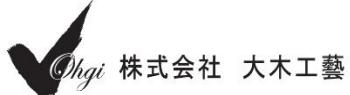
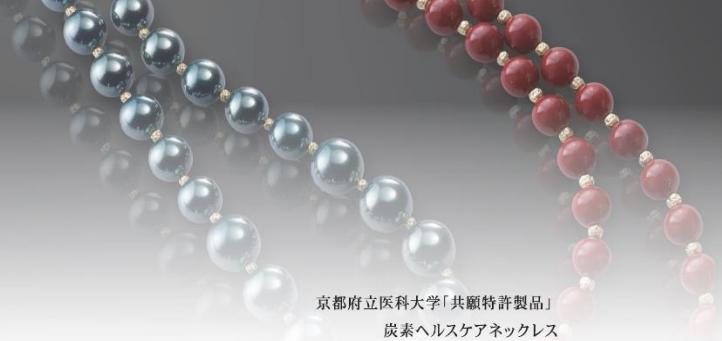
2016年、セーラー万年筆は
おかげさまで105周年を迎えます。



セーラー万年筆は1911年（明治44年）創業以来、広島県呉の地で優れた職人による、優れた書き味の万年筆を作り出してきました。
他社にない柔軟性を有した21金ペン先や日本の伝統工芸と融合した製品の数々は国内だけではなく、世界中で高く評価されています。

Since its establishment in 1911, SAILOR has been producing high quality fountain pens with smooth and excellent writing experience, made by skilled craftsmen of Kure, Hiroshima. With its 21K solid gold nib that possesses unique softness, and the wide range of products that integrate Japanese traditional craft with fountain pens, SAILOR has been praised nationally and internationally.

写乐（Sailor）钢笔自1911年（明治44年）创业以来，由日本广岛县吴市的优秀工匠精心制造而闻名，书写手感卓越。拥有其他公司无法效仿的柔性的21K金笔尖；融合了日本传统工艺的种种产品，不仅在日本国内，在世界各国也广受好评。



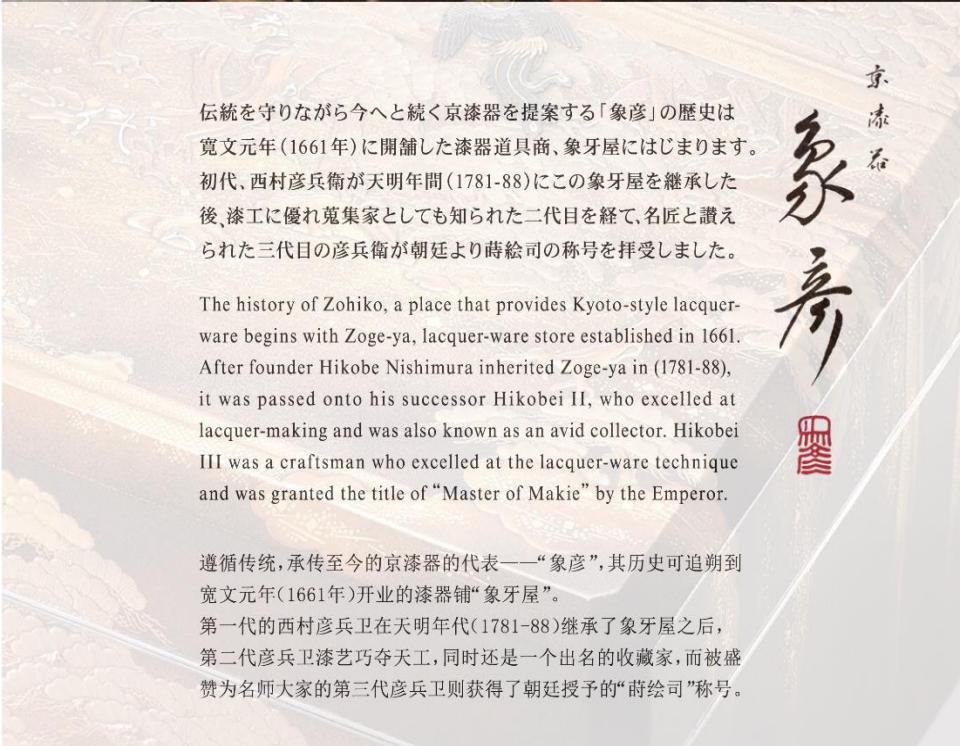
大木工藝の研究開発は、自然のもつ優れた性能と、高度な物質、機能が一体となり、その存在が確立している「炭素」を根幹に、「応用開発」という枝葉を繁らせ、花から実へと培って45年、これからも進化を続けてまいります。

The natural superior performance, advanced materials and functions of nature come together in the research and development of Ohgi Technological Creation. We will continue to evolve by growing our leaves and branches of "applied development", cultivated from seed to flower over 45 years, with the "carbon" of which its existence is established as a basis.

大木工艺的研发以天然的优秀功能和高度物质、功能融合一体，建立了屹立不摇的地位的“碳素”为基础，衍生出“应用开发”，历经45年，不断开花结果，得以进化。



純度99.9%万年筆炭素材料(漆塗り前)





見返り美人

Beauty Looking Back

世界が驚愕した浮世絵

菱川師宣(ひしかわもろのぶ)の見返り美人図。歩みの途中でふと足を止めて振り返った先には、新緑の柳と満開の桜が咲き誇る春の風景が広がっています。
日本人の好きな雅な春の風情を表現しました。

万年筆の写真はほぼ原寸のサイズです

※全長 約175mm
直径(上部) 約20mm

2,000,000円+消費税

(展開図は65%に縮小しています。)

万年筆の写真はほぼ原寸のサイズです

※全長 約175mm
直径(上部) 約20mm

2,500,000円+消費税



白孔雀

White Peacock

神格化された美しさ

孔雀はその美しさから多くの国で愛され、色彩、姿は神格化され、古代中国では九徳を備える瑞鳥とされてきました。

雄の孔雀の美しい姿は古くから文様とされ、正倉院にもその刺繡が残されています。古い孔雀文は素朴な鳥の姿をしていますが、近世以降は写実風の絢爛たる姿になり、婚礼の打掛などに使われています。また尾の羽根だけを文様化した孔雀羽文もあります。

(展開図は65%に縮小しています。)



信玄

Takeda Shingen - a flag of Fu-Rin-Ka-Zan

銀で風林火山の旗文字を描きました。
黒漆で信玄の花押、武田軍の有名な騎馬隊を
金で描きました。
(展開図は65%に縮小しています。)

万年筆の写真はほぼ原寸のサイズです

※ 全長 約175mm
直径(上部) 約20mm

900,000円+消費税



謙信

Uesugi Kenshin - Bishamonten

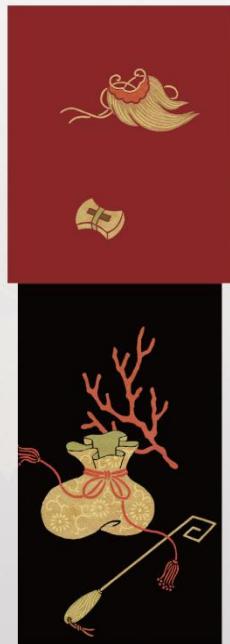
謙信の信仰していた「毘沙門天」を銀の蒔ばかりで表現し、御旗の日の丸と旗印の龍文字を描きました。

(展開図は65%に縮小しています。)

万年筆の写真はほぼ原寸のサイズです

※ 全長 約175mm
直径(上部) 約20mm

950,000円+消費税



宝尽くし

Collection of treasures

一つでも授かりたい文様

宝尽くしは、福徳を招くめでたいものを集めた文様です。古来中国から伝わった文様で、長い時間を掛けて日本人なりの文様に置きかえ、室町時代の末から吉祥文様として定着したといわれています。

一つでも授かれればこんなありがたい宝を欲張りにたくさん散りばめた文様です。

(展開図は65%に縮小しています。)

万年筆の写真はほぼ原寸のサイズです

※ 全長 約175mm
直径(上部) 約20mm

600,000円+消費税



織田信長

Oda Nobunaga - Tenka Fubu

天下布武

「天下布武」とは織田信長が、天下統一の意思を示し、岐阜進出直後の1567年11月頃から使用した朱印に用いた印章のことをいいます。一般的には「天下に武を布(し)く」と考えられています。「天下」とは「日本」とか「畿内」のことかといった点で意見が分かれていますが、「武」すなわち「武力」をもって「天下」を平定するという意味と考えられています。織田信長が使用した印は3種類ありますが、今回使用したものは一般的な馬蹄型を配しました。

信長は日本で一番最初にワインを飲んだ人物とも言われており葡萄は武道にも通じ武士が好んで引用した図柄でもあります。

(展開図は65%に縮小しています。)



獅子
Lion

魔除けの力が宿る唐獅子

獅子は熱帯動物のライオンです。日本に居なかった為、中国から伝わってきた時に猪や鹿と区別して、中国を示す「唐」を付けて唐獅子ともいわれました。

獅子は魔除けの力があるとされており、牡丹との組み合せの「唐獅子牡丹」がよく知られています。

＜唐獅子牡丹＞「百獸の王」唐獅子には恐れるものは何もない様ですが、ひとつだけ獅子が恐れているものがあります。それは唐獅子の体毛の中に住みつく害虫です。しかし、この害虫の弱点は、牡丹の花からたらち落する夜露にあたると死んでしまうことです。そのため唐獅子は夜になると牡丹の花の下で休むとされました。牡丹については、獅子がこれを食べるととも言われています。

600,000円+消費税

写真是原寸の約80%縮小です。



鳳凰
Phoenix

天下泰平の世に現れる瑞鳥

古くは中国で尊ばれた想像上の瑞鳥で、麒麟(きりん)・龍・亀と共に、四瑞とされています。鳥の王と位置づけられ、雄を鳳、雌を凰と称し、名君によって天下が泰平になれば現れると伝えられています。

日本には、古墳時代の末には鳳凰の文様が伝えられて以来、さまざまな工芸品に描かれています。

鳳凰は梧桐(ごとう)の木に留り、竹の実を食べ、靈泉を飲むという、聖獣らしい伝説的な生態で語られ、とくに桐と鳳凰の組み合わせは鳳凰にふさわしく、高縁でも人気の意匠です。

600,000円+消費税



万年筆の写真是ほぼ原寸のサイズです

※ 全長 約175mm
直径(上部) 約20mm

600,000円+消費税



六瓢

Six gourds of good omen

六瓢(むびょう)息災

瓢箪(ひょうたん)は、子孫繁栄、厄よけを意味するおめでたい吉祥文様です。末広がりの形からも縁起の良いものとされてきました。

また、瓢箪は六つ合わせると六瓢(むびょう)となり「無病息災」と、語呂合わせで縁起の良いものとされています。

風水では、良くない氣を滅(げん)じるものとされ、家の玄関先などに吊るしておくと邪氣を吸い込み逃がさないと言われています。

(展開図は65%に縮小しています。)



写真は原寸の約80%縮小です。

矢 Arrow

今も新しい線と形

矢羽根は矢の上部につける、鷺、鷹、鳶などの羽根のことです。矢羽ともいいます。形や羽根の斑文の面白さから文様化され、桃山時代の銅版には、並列した矢羽根が美しく意匠化されています。

その形と線を生かしたデザインは今も新鮮に感じられます。

緑・赤・黒の三色からお好きな組み合わせが可能です



万年筆の写真はほぼ原寸のサイズです

※全長 約175mm
直径(上部) 約20mm

550,000円+消費税



白象 White Elephant

仏教伝来と共にやってきた象

日本人が象の存在をはじめて知ることになったのは、奈良時代と言われています。インドを経て、中国から日本へともたらされた陶器や彫像の意匠には、象があらわされたものがいくつもあり、それらは現在でも正倉院に納められています。インドは、象の棲息地であったためか、古くから象を祀っていました。象は世界を支えるものとされ、象の頭をもつ「ガネーシャ」という神様が古くから崇められてきました。こういったインドの象信仰がやがて中国にもたらされ、やがて象は聖獸となり、象が背中に宝瓶を載せている図は「太平有象」と呼ばれ、幸せを招きよせるされました。こうした象文様は、仏教の信仰とともに伝えられたため、日本においても吉祥文様となりました。

写真は原寸の約80%縮小です。

龍 Dragon

動物の頂点に君臨する龍

龍は大地と水を支配し、雲に乗って空中を飛翔し、収穫や厄除の除災を司ると信じられていました。頭には角があり、胴は大蛇のようで、鱗があり、鋭い爪を持つ想像上の靈獸で鳳凰、麒麟(きりん)、亀と共に、四瑞とされ動物の頂点を意味するとされています。

中国で龍は皇帝、鳳凰は皇后の象徴としても知られています。

600,000円+消費税



飛鶴

Flying Cranes

今も色あせない美しい姿

鶴は古くはたづと呼ばれ神鳥と考えられてきました。「鶴は千年、亀は万年」といわれる様に鶴は亀とともに長生きを象徴する瑞鳥として尊ばれてきました。

純白の羽毛と飛翔のさまの美しさ、高貴で誇り高く見える立ち姿は格別で、文様でも品位のある吉祥文様として早くから意匠化されました。飛ぶさまを表したものを飛鶴文といふほか、写実的なものや、図案化した、向鶴、雲鶴、鶴丸など、多種多様に愛用されています。古来より親しまれ、様々な意匠化された姿は現代でも色あせることなく新鮮にその姿を見させてくれます。(展開図は65%に縮小しています。)

万年筆の写真はほぼ原寸のサイズです

※全長 約175mm
直徑(上部) 約20mm

550,000円+消費税



波千鳥

Chidori with waves

波に遊ぶ千鳥の群れ

海や川の水辺に棲み、いつも群れをなして遊ぶ小鳥たちの姿は、古くから日本人に愛されてきました。

写実的な千鳥、単純化された千鳥など様々に文様化され、蒔絵などの工芸品にもたびたび詩情豊かに描かれてきました。このたびは、波間に遊ぶ愛らしい千鳥を描きました。

緑・赤・黒の三色からお好きな組み合わせが可能です

550,000円+消費税

写真は原寸の約80%縮小です。

蝶

Butterfly

華麗に舞い飛ぶ美しい蝶

大型の華麗な蝶は鳳蝶(ほうちょう)と呼ばれます。蝶は形が美しく、色が美しく、舞い飛ぶ姿の可憐さなどから奈良時代以来、様々な文様化されてきました。古い蝶の文様には蝶鳥文と呼ばれる、燕の形をした鳥と組み合わせたものが多く、今では神社の帳(とばり)の赤と黒の飾紐に見ることができます。

そのほか薄や露芝、牡丹と組み合わせて描かれています。

緑・赤・黒の三色からお好きな組み合わせが可能です

550,000円+消費税



よりそい
Cats close to each other
平安時代から愛され続ける猫

猫は愛玩動物として平安時代に飼われていたことが「枕草子」にもあらわされています。姿が美しく魅力的な動物ですが、靈的な力があると信じられ、日本ではさまざまな怪談にも登場するほど。

そのため当時は意匠としては猫は今ほど人気はなかったかもしれません。

現代では、愛らしさはもちろん、神秘性を感じさせるところも人気があり、意匠としても広く用いられています。

緑・赤・黒の三色からお好きな組み合わせが可能です

(展開図は65%に縮小しています。)

万年筆の写真はほぼ原寸のサイズです

※ 全長 約175mm
直径(上部) 約20mm

550,000円+消費税



月猫
Cat in the moon
平安時代から愛され続ける猫

猫は愛玩動物として平安時代に飼われていたことが「枕草子」にもあらわされています。姿が美しく魅力的な動物ですが、靈的な力があると信じられ、日本ではさまざまな怪談にも登場するほど。

そのため当時は意匠としては猫は今ほど人気はなかったかもしれません。月は古来中国では不老不死・再生の思想と結びついています。

中国では不老不死の薬を杵臼でついていたことから、月の満ちては欠け、欠けては満ちる様子が、不老不死・再生の思想と結びつけられたとされています。

猫と月、どちらも美しく神秘性を感じさせる二つを配した現代の意匠となりました。(展開図は65%に縮小しています。)

万年筆の写真はほぼ原寸のサイズです

※ 全長 約175mm
直径(上部) 約20mm

550,000円+消費税



万年筆の写真はほぼ原寸のサイズです

※全長 約175mm
直径(上部) 約20mm

480,000円+消費税

雨龍 Rain Dragon

どこか愛嬌ある
優しい雨龍

雨龍(あめりゅう、あまりゅう)は、雨をつかさどる龍とされ、神が恵みを授けたという証しにこの雨龍が雨を降らせるとされていました。また龍の幼い姿だともいわれ、森や山に住む精霊だと考えられています。

猛々しい印象のある龍に比べ、雨龍は頭の角もなく、どこかやさしい印象で、愛嬌が感じられます。

(展開図は65%に縮小しています。)



紅葉 Scarlet maple leaves

幸福をもたらす紅葉

紅葉の美しさは、一年最後の華やぎです。
同じ華やぎでも春の桜とは違い、その美しさの中に時の移ろいや哀愁を重ね多くの人たちの心を虜にしてきました。
また、長寿を表す紅葉。季節により刻々と色を変えて人を喜ばせることから、「幸福」の意味も持っています。

緑・赤・黒の三色からお好きな組み合わせが可能です

万年筆の写真はほぼ原寸のサイズです

※全長 約175mm
直径(上部) 約20mm

550,000円+消費税

(展開図は65%に縮小しています。)



これらの写真是
原寸の約50%縮小です。

桜花

Cherry blossoms

愛され続ける桜

日本を代表する花であり老若男女に愛されて
いる桜。風にそよぐ優美な姿や舞い散る夢
さ、様々な姿を見せてくれます。またその文
様は季節を通して親しまれています。

緑・赤・黒の三色からお好きな組み合わせが可能です



蝙蝠

Bat

「福を招く」

福を意味するという蝙蝠(こうもり)の意匠。
中国では蝙蝠の「蝠」が「福」と同音であるこ
とから吉祥を意味する文様とされ、それが日
本に伝わりました。

480,000円+消費税

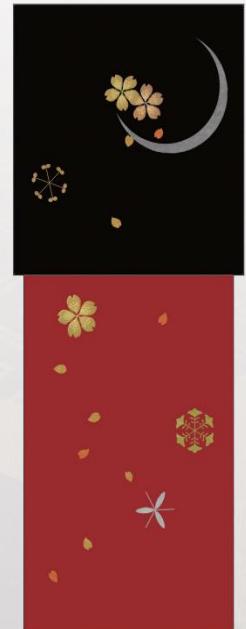
写真是原寸の約80%縮小です。



万年筆の写真是ほぼ原寸のサイズです

※全長 約175mm
直徑(上部) 約20mm

480,000円+消費税



雪月花

Setsugetsuka

四季の移ろいを感じる

雪月花

四季折々の美しい自然の景色をあらわした
「雪月花」
春の桜、秋の月、冬の雪と四季の移ろいを感
じさせてくれる言葉とともにその文様も日本
人によなく愛されてきました。

(展開図は65%に縮小しています。)



月に鹿

Deer under the moon

長寿を象徴する鹿

鹿は神の使いとして神社に飼われる事もあり、中国では1000年で「蒼鹿(そうろく)」、2000年で「玄鹿(げんろく)」になると伝説があり、長寿の仙獸とされています。鹿(ろく)の音が同じである禄(ろく、財産)に通じるといわれ、吉祥の動物とされています。日本においては平安時代に鹿と紅葉を組み合わせる文様が生まれ、広く用いられています。

万年筆の写真はほぼ原寸のサイズです

※ 全 長 約175mm
直径(上部) 約20mm

(展開図は65%に縮小しています。)

480,000円+消費税



蜘蛛

Spider

「幸せをつかむ」蜘蛛

現代では、害虫というイメージもあるようですが、昔の人々にとっては蜘蛛の巣は人間では作ることのできない神秘的なものに感じられたのではないかでしょうか。蜘蛛の巣は、日本書記や古今和歌集、平家物語にも登場し、朝に蜘蛛の巣が下がると「待ち人がくる」とされ、縁起の良いものとして扱われています。

また、文様としても「幸せをつかむ」という吉祥文様として様々な美術品に用いられてきました。

480,000円+消費税

写真は原寸の約80%縮小です。



源氏車

The wheel of an ox-drawn carriage, called 'genji guruma'

風情ある源氏車

平安時代の貴族の乗り物・牛車の車輪は、乾燥を防ぐため不要のときにはしばしば水に入れています。水の流れが半円形の車輪にまつわり流れる風情を、当時の人々は鑑賞し、工芸意匠にも好んで用いられてきました。

480,000円+消費税



昇龍

Rising dragon

動物の頂点に君臨する龍

龍は大地と水を支配し、雲に乗って空中を飛翔し、収穫や悪疫の除災を司ると言われています。中国で龍は皇帝の象徴としても知られています。

万年筆の写真はほぼ原寸のサイズです

※ 全長 約175mm
直径(上部) 約20mm

1,500,000円+消費税

(展開図は60%に縮小しています。)



トンボ

Dragonfly

後ろ向きに飛ばない勝虫

俊敏に力強く空中を飛び回り、決して後ろ向きに飛ばないことから「勝虫」と呼ばれたトンボは古来縁起物として武士の間で用いられてきました。

また繁栄の吉祥紋としても広く知られ、一般の人々にも広く親しまれてきた意匠です。

万年筆の写真はほぼ原寸のサイズです

※ 全長 約175mm
直径(上部) 約20mm

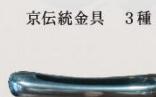
480,000円+消費税

(展開図は65%に縮小しています。)



万年筆収納箱
縦 235mm
横 55mm
高さ 60mm

漆塗り仕上げ 赤漆 単色 / 黒漆 単色



銀古美
Ginhurubi



菱座下がり
Hishizasagari



松葉
Matuba



溜色ツートン



溜色ツートン

単色 160,000円+消費税 ツートン 200,000円+消費税



黒漆高蒔絵 鯉 (万年筆2本収納)
250,000円+消費税

縦 250mm
横 120mm
高さ 40mm



外箱



赤漆高蒔絵 蝶鉢 軍配 (万年筆2本収納)
280,000円+消費税

炭素純度99,9% OHGIの炭素について、

炭素は大きく、ダイヤモンドに代表される分子が6角形の結晶構造を成す高密度炭の「定形炭素」と、備長炭など樹木炭の分子の結晶構造が定まらない「無定形炭素」に分類されます。

この「定形炭素」は360度方向に熱が拡散する「等方性高密度炭素」で、遠赤外線吸収・放射率No.1の理想黒体（炭素純度99.9%）です。

「高純度炭素万年筆」のボディは全てこの固体から削り出して造ります。

高密度炭素の優れた
熱伝導により、環境の
熱を氷上の万年筆に伝え、
水も溶かします。



炭素万年筆製造工程



蒔絵
検査(大木工芸社内)



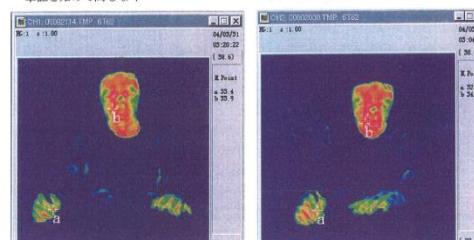
デジタルマイクロスコープ



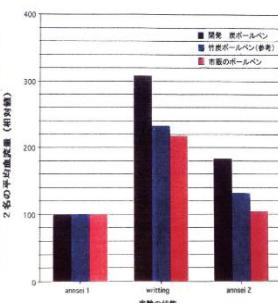
開発炭素筆記具の生理的評価

市販の製品(比較材料) 炭素筆記具

筆記を始めて間もなく



血流量のグラフ



【総評】

環境への物理的及び化学的諸特性をもつと言われる「炭素筆記具」は顕著な α 波を発生させると共に血中酸素濃度の増加、皮膚抵抗の安定（リラックス効果）、体温上昇及び保温効果、血液循環の増進、最大と最小血圧の差の増加、心肺機能並びに代謝機能の生理的効果が認められる炭素であることが確認されました。

東京電機大学大学院工学研究科 教授 町 好雄

静電気除去テスト(市販品と炭素万年筆の比較)

受付No.S15-01504 検査結果報告書 発行日 2015年6月18日 P1/1

依頼者 株式会社大木工芸
件名 大木様 万年筆の機能性評価
受託日 2015年6月18日

試験項目及び結果

	① 万年筆 (炭素有り) (参考値)	② 万年筆 (炭素無し) (参考値)
*耐電性 ストップル法 kV	3.8	5.5 6.1 JIS L 1094:2008

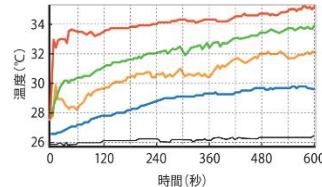
測定環境
試験方法
測定場所
試料

この結果は提供された試料の結果であり個人情報を説明するものではありません。*②はJISL1094の試験結果。第一回転範囲

温度測定実験を実施



炭素万年筆の温度測定グラフ



実験結果

10分後の温度	炭素万年筆	市販万年筆
測定点①、②	約8~10°C	約4°C
測定点③	約4~7°C	約3°C
ペン先	約4°C	殆ど確認できない

炭素万年筆と市販万年筆(エボナイト製)を手に握った状態で
10分間万年筆の温度変化を測定。市販万年筆に比べ、炭素万年筆の温度上昇値が約2倍高いことが分かりました。

※本ページのデータの転載禁止

Ohgi
High density carbon
Purity 99.9

炭素で極める

不変の素材と向き合い、突き詰め、磨き、引き出す。

求めるのは、健やかで美しさに満ちた暮らし。

天然のもつ、すぐれた性能はもとより、大きな機能性と高度の情報活性などの側面があり、その物性・機能が一体となり、大自然の輪廻の中でその存在が確立されている炭素素材を使い、「自然から学び、自然に還す」をモットーとして、安全で豊かな地球環境を守る責任企業へと邁進することが、大木工藝の願いです。

特許製品
H22.7.9

Made in Japan



21 金のペン先が輝きます。